

医療機器等開発体制強靱化促進事業

令和3年度概算要求額 8.0億円（新規）

事業の内容

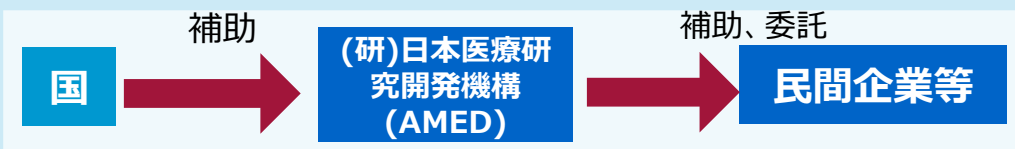
事業目的・概要

- 新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりにより、国内外において人工呼吸器等の医療機器について、不足する可能性が顕在化しました。これらの医療機器等の多くは海外からの輸入に頼っていることも多く、世界的に需要が高まった場合、その確保は医療の安全保障の観点からも重大な課題です。
- 介護現場においては、感染症の拡大により、在宅での介護ニーズが高まっています。高齢者が感染を恐れて外出をせず、運動能力の低下や認知症の程度が進むなどの問題も生じています。
- これら課題への対応として、感染症や災害等の有事に必要な機器で、海外依存度の高い医療機器（部品・消耗品も含む）について、国内で生産できる能力を有すべく、開発を支援します。また、在宅介護の課題を解決する介護機器・福祉用具の開発を支援します。
- その際、異業種からの参入も絡めて体制を構築することが重要です。これらの取組を通じて、医療機器産業等への参入を促進し、医療機器産業としての開発体制の強靱化を図ります。

成果目標

- 本事業による助成終了後6年目（令和11年度から令和15年度）までに、採択の30%以上の製品について上市（事業化）を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

開発事業（令和3～7年度）

<医療機器>

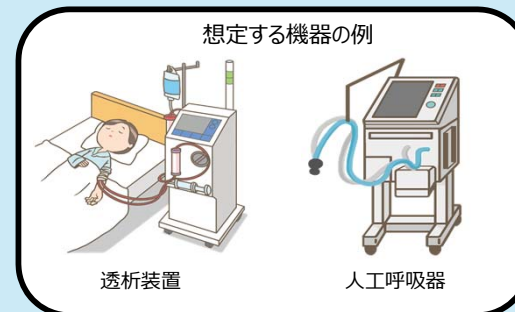
- 感染症対応や各種災害等で求められる可能性が高く海外依存度の高い医療機器（部品・消耗品を含む）について、国内において生産できる能力を有するために支援を行います。
- 人工呼吸器や透析装置等の医療機器について国内において継続的な供給が可能とするための開発・改良やトレーニング機器の開発等について支援を行います。

<介護機器・福祉用具>

- 在宅介護ニーズの高まりや、コロナ感染症の広がりを受けた高齢者の行動変化を踏まえ、在宅における介護の機能向上や、高齢者の健康維持に資する支援を行います。
- オンラインによる介護をサポートする機器、高齢者の行動やコミュニケーションを促す機器の開発・改良について支援を行います。

<医療機器>

感染症・災害時等に必要な機器
海外依存度の高い機器



<介護機器・福祉用具>

在宅介護に対応する機器
高齢者の健康維持に資する機器

